

平成29～30年度国立教育政策研究所 研究指定校【中津市立三保小学校】

研究主題

進んで活動して表現し、生活を豊かにする子どもの育成
～幼児教育での学びを踏まえ、より深い学びを実現していくための指導計画及び指導法の研究～

平成29年度の課題

- 低学年らしい思考を生かすような交流場面の設定
- 児童の思いや願いを大事にした学習活動が展開されるような指導の工夫
- 関連した気付きが生まれるように、児童の発話をつなぐ教師のコーディネート力
- 幼稚園等に学ぶ協働体制の在り方

平成30年度の研究の重点

①生活科における思考力、判断力、表現力等の基礎を育成する指導計画及び指導方法の工夫

- 見付ける、比べる、たとえるなどの分析的に考える力や、試す、見通す、工夫するなどの創造的に考える力が働くような学習活動の工夫
- 多様な表現活動による伝え合いと、発達段階や個人差を踏まえたツール等の活用

②個別の気付きを関連付けられた気付きへと質を高めるための対話的な学びの工夫

- 伝える学習活動、意見交換する学習活動、振り返る学習活動の充実と、必要に応じたツール等の活用
- 全体交流の場での言葉かけや板書の構造化等、教師のコーディネート力の向上

③幼稚園等との協働研究体制によるカリキュラムの工夫・改善

- 児童の実態を踏まえた、資質・能力表の見直しと改善
- アプローチカリキュラムとの接続を踏まえた新スタートカリキュラムの実践と更なる検証・改善

平成30年度の成果と課題

- 個の振り返りや困りの紹介により、比べる・たとえる等の気付きの広がりや全体交流での対話の促進
- 即時的な気付きを書きとめる付箋やカードの活用とそれを対話に用いることによる気付きの質の高まり
- 楽しんで表現したり一人ひとりの成長を可視化できたりするツールの活用による意欲の向上
- カードやツール活用時の個人差を踏まえた表現方法の選択や、まとめ時の表現における劇化の難しさ

- 対話を生み出すツール(「お知らせカード」「困っているよカード」)を掲示することにより、同学年だけでなく異学年との対話の広がり
- 児童の意見を付箋と共にまとめ、関連した気付きを生み出す板書の構造化
- 全体交流で関連した気付きを生み出すために子供の姿や発言の解釈・判断・言葉かけ等、教師のコーディネート力の更なる向上の必要性

- 子供たちの実態を把握した上でのスタートカリキュラムの実施による小学校生活へのスムーズな移行
- 全教職員体制でのスタートカリキュラム共通理解と読み聞かせ等の関わり
- 幼児の発達や学び等を理解する全教職員による研修として、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を見取る保育参観(学期毎に1回)の実施
- 入学する子供の実態により即したものにするために2月の時点でのスタートカリキュラムの見直し強化